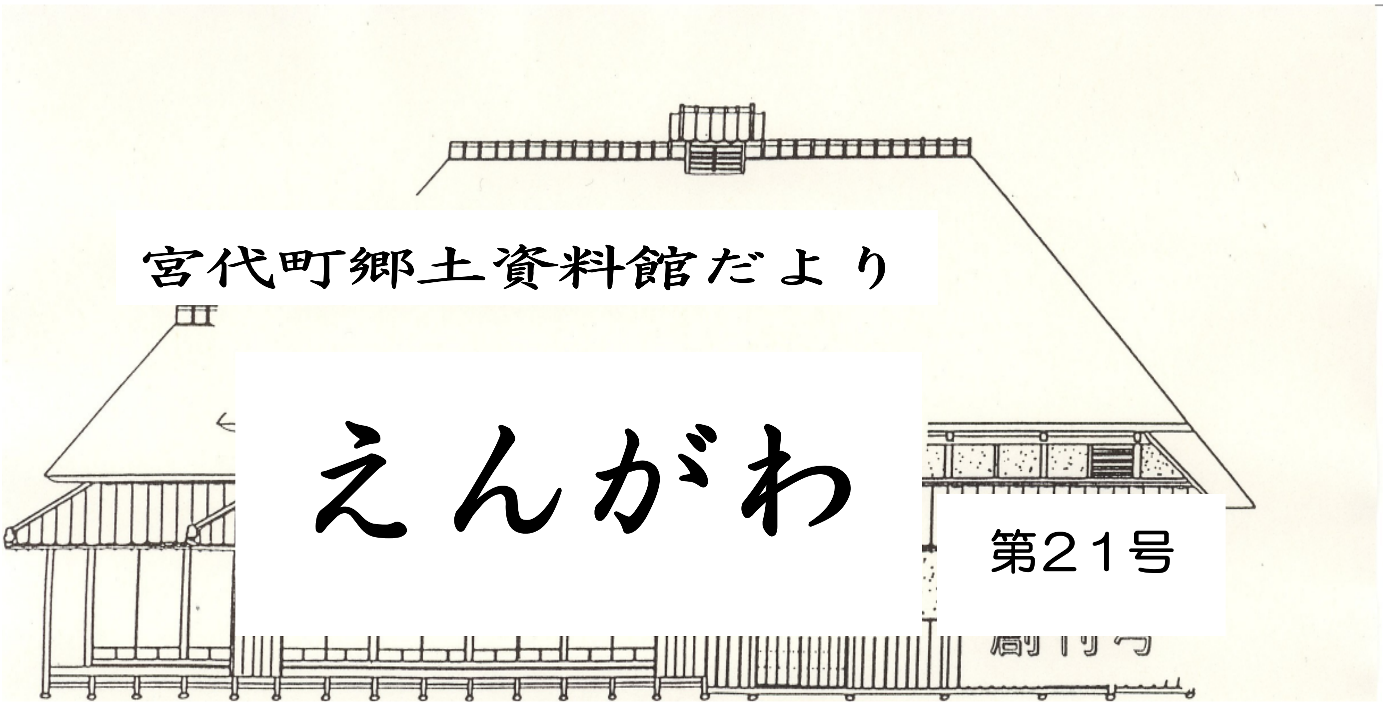


宮代町郷土資料館だより

えんがわ

第２１号

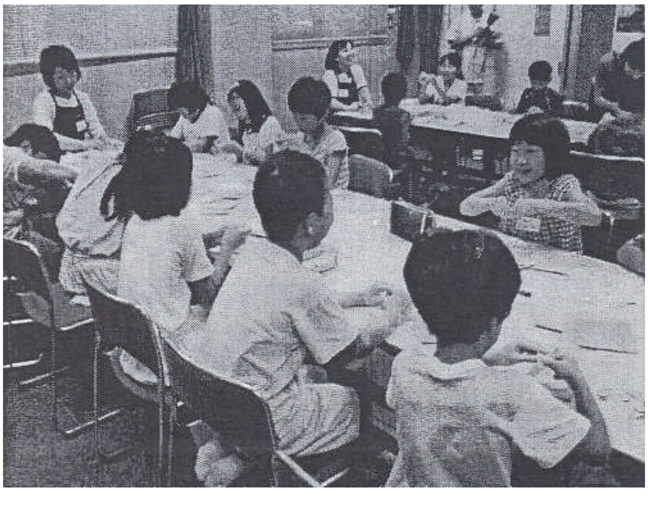
夏休み体験学習　進修学校・西條学校

７月３１日～８月３日にかけて郷土資料館の会議室で「進修学校」を、また８月７日～８月１０日において須賀小学校の教室を使用して「西條学校」を開催しました。

いずれも３年生以上の小学生を対象とし、夏休みを利用して昔の遊びを体験してもらいました。

４日間の内容は、、「和綴じノート作り」・「竹とんぼ作り」・「お手玉作り」・「勾玉作り」で、ナイフや針などを使って皆さん一生懸命でした。

お手玉作り（西條学校）



勾玉作り（進修学校）

完成した竹とんぼを飛ばしたり、お手玉で遊んだり、皆さん楽しそうでした。

時代の流れと共に子供の遊びもＴＶゲーム等に変わって来ていますが、同じ町内の講師の方々から昔の遊びを教えていただき、自分で作って遊ぶと言う面白さを参加した小学生の皆さんは経験した事でしょう。

琵琶のしらべ

６月２４日、郷土資料館の屋外施設・旧加藤家の座敷において、演奏会「琵琶のしらべ」を開催いたしました。奏者は薩摩琵琶の流派の１つである錦心流の菊地襲次郎さんで、ご好評につき郷土資料館で演奏されるのは今回で３回目になります。

菊地さんは町内在住の方で、２０歳の頃より琵琶を弾いているそうです。

演目は、平忠度が主人公の『忠度』、静御前をうたった『靜』、昔話で有名な『浦島太郎』、そして最後に西南戦争で悲劇的な運命を遂げた西郷隆盛のお話で『城山』でした。

琵琶は五弦琵琶をはじめ沢山の種類がありますが、薩摩琵琶は武士の士気を高めると共に道徳教育のためのもので、勇壮活発で奏者は男性が中心です。

楽器の素材は、胴体に檜や桐が使われ、何百本もの細い絹糸を何度もよりあわせて１本にした弦が使用されます。弦は繭から取出した糸を煮詰めて乾燥させ､糊をかけると絹とは思えないほど頑丈になり、音色が生きてきます。

この日訪れたお客様は、菊地さんの語りと琵琶の音色を充分に堪能していました。

かやぶき民家で昔話を聞く会

７月２１日､旧加藤家の座敷において、「かやぶき民家で昔話を聞く会」を行い、『宮代おはなしの会スウス』のみなさんにお話をしていただきました。

プログラムは、１．「ざしきぼっこ」（『宮沢賢治童話絵本』より）２．「ふるやのもり」（『おはなしのろうそく』より）３．「法印様ときつね」（『かたれやまんば』より）４．「怪しい虫」（『日本の民話』より）５．「目なしゆうれい」

（『おばけのはなし・１』より）　６．「葛の葉」（『松谷みよ子むかしむかし』より）の６作品で、日本に伝わる「怖い話」を語っていただきました。

夏の夕暮れ時におばけの話をかやぶき民家で聞くのも風情があるものです。まだ参加されていない方はぜひ一度いかがでしょうか？

土器づくり教室

７月３０日と８月２８日の２回に分けて、「土器づくり教室」を行いました。

７月３０日の「土器づくり」では、粘土で土器や土鈴を作りました。講師の田中先生の指導を受けながら、２時間半があっと言う間に過ぎてしまうくらい、みなさん作業に集中していました。

土　器　づ　く　り

土　器　焼　き

８月２８日は「土器焼き」で、猛暑にも関わらず大勢の方が参加されました。焼きあがった土器を見て、よく出来たと喜ばれていた方や残念ながら割れてがっかりされた方など、様々でしたが残り少ない夏休みを楽しんでいました。

職場体験学習

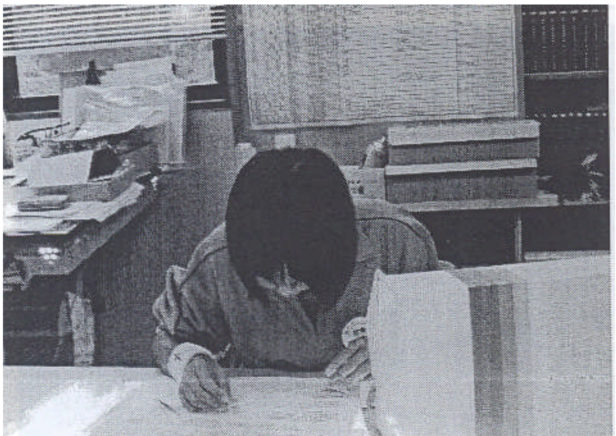
７～８月にかけて中学生が町内で職場体験学習を行いました。

郷土資料館においても、百間中学校（７月１０日～７月１２日）、須賀中学校（８月８日～８月１０日）、前原中学校（８月２２日～８月２３日）の生徒が３日間、旧加藤家住宅や旧斎藤家住宅の清掃、図版製作、拓本等の仕事を体験しました。

前原中学校のみ台風の影響で２日間となりましたが、「台風で２日間になって残念でした。でも楽しかったです。図版製作はめったにできない貴重な体験でした」と言う感想を生徒さんからいただきました。

保護者の方からも、「親の世代でも見た事がないかまどで火おこしをしたり、貴重な体験が出来たと思います」や、「働くと言う社会体験に加えて、拓本をとったり昔の道具に触れたりと、普段できない事を体験したことでしょう」等の感想をいただいています。

地域の様々な年代の方々と接した中学生の皆さんは、この体験を通じて社会のルールやマナー、また自律性などを学んだことでしょう。



コラム～クルミの木～

７月１５日、東条原地区において鎮守・鷲宮神社の祭礼があり､獅子舞が奉納されました。(祭礼は現在、毎年７月１６日に近い日曜日に行われています。)

獅子と呼ばれる想像上の動物の頭をつけて舞う獅子舞には、１人で一匹の獅子に扮して３匹で舞う一人立ち三匹獅子と、二人で１匹の獅子に扮する二人立ちの獅子の二つに大別され、町指定無形民俗文化財である東条原の獅子舞は一人立ち三匹獅子に分類されます。

男獅子（おじし)・中獅子（なかじし)・女獅子（めじし）の三匹の獅子と、三人のひょっとこが、太鼓と笛の演奏に併せて舞います。梵天・綱・弓・梯子・花・平庭・隠しといった演目がありますが、現在は梵天・綱と他２演目の上演で、梯子は近年上演されていません。この他、神社の鳥居で行う門がかりや練りこみといった演目もあります。

祭礼の他に町民祭りや町民文化祭でも上演され、須賀中学校の運動会では保存会の方に指導を受けた生徒さんによる上演もあります。

資料寄贈者名簿

下記の皆様から歴史や文化に対する資料をご提供いただきました。厚く御礼申し上げます。

八木橋一郎氏	工業用ミシン
野本伊勢松氏	墨入式アイロン
野本惣太郎氏	竿はかり
小河原　進氏	蔵の部品　古文書　巾着等

資料館日誌抄

≪平成１３年７／１日～平成１３年１０／３１≫

７．　３	季節展示　七夕（～８．７）
７．１０	百間中職場体験学習（～７．１２）
７．３１	進修学校（～８．３）
７．２１	かやぶき民家で昔話を聞く会
７．３０	土器づくり教室　１日目（土器づくり）
７．３１	学芸員実習（～８．１０）
８．　７	西條学校（～８．１０）
８．　７	季節展示盆飾り（～８．１６）
８．１５	小展示　進修・西條学校作品展（～８．３１）
８．　８	須賀中職場体験学習（～８．１０）
８．２２	前原中職場体験学習（～８．２３）
８．２８	土器づくり教室　２日目（土器焼き）
１０．１１	巡回展　埼葛のまつり・行事(～１０．２１)
１０．２１	わら細工教室

宮代町郷土資料館だより　えんがわ　第 21 号
発行日　平成 13 年 11 月 1 日
発行　宮代町郷土資料館

郵便番号　３４５－０８１７
住所　埼玉県南埼玉郡宮代町字西原２８９番地
電話番号　０４８０－３４－８８８２
ＨＰ　http：//www１.sphere. ne.jp/miyasiro/musiam/top.html